

2022年度上半期学生表彰受賞者

【個人3件】

氏名 (学部・研究科)	決定理由	表彰
<small>カワタ アユリ</small> 河田 歩里 芸術学部4年	「第50回記念 伝統工芸日本金工展」で「21+金工部会賞」を受賞。公益社団法人日本工芸会が主催する <u>全国から応募された金属工芸作品の一般公募展</u> である。21+部門は、学生又は令和4年3月31日時点で <u>30歳未満の作家が応募できるカテゴリー</u> であり、 <u>出品25点の中から「21+金工部会賞」1点と入選を決める選考会</u> により決定された。	学長奨励賞
<small>ドイ キコ</small> 土井 紀子 芸術学研究科 博士後期課程2年	おりづるタワーにおける <u>広島ゆかりのアーティスト20代～90代の9名が戦後100年後となる2045年をテーマに平和の願いをアートで描く「WALL ART PROJECT " 2045 NINE HOPES "」</u> に20代アーティスト代表として、厳しい審査を経て決定された。また、本プロジェクトは2月から5月末までの3か月間で17回、著名な美術雑誌やテレビ局・新聞社等多くのメディアに取り上げられた。	学生顕彰
<small>アワネ セイイチロウ</small> 粟根 誠一郎 芸術学部4年	第28回伝統工芸諸工芸展（七宝・硝子・硯・砥・截金・砂子 等）において「入選」。この展覧会は、毎年9月中旬から下旬にかけて開催される伝統工芸展（本展）の登竜門に位置する7つ部会展の一つであり、本展に同じく <u>全国公募で実施される展覧会</u> である。また、同学生は、いちバスの「エンブレム」の七宝部分の制作と取付作業も行っている。	学生顕彰

2022年度下半期学生表彰受賞者

【個人13件】

氏名 (学部・研究科)	推薦理由	表彰基準
小野坂 浩 情報科学部 4年	公益社団法人 日本生体医工学会主催の「生体医工学サマースクール2022」で相互投票賞を受賞。本大会は、全国の学生、若手研究者を対象として毎年夏に2日間で開催されるハッカソンイベントであり、最優秀賞、相互投票賞、最優秀1分プレゼン賞が授与。	学長奨励賞
亀山 勇希 情報科学研究科 博士前期課程 2年	大学、研究所、企業などの研究者が参加する国際会議「16th International Conference on Innovative Computing, Information and Control」においてBest Presentation Awardを受賞。	学長奨励賞
鬼河 ひなた 芸術学部 4年	公益財団法人日本交通文化協会主催の「国際瀧富士美術賞」第43期奨学生に選出され、優秀賞・グランプリを受賞。本賞は、日本国内13校、海外7カ国12校の主要美術大学の教員からの推薦を受けた学生に与えられる賞であり、優秀賞受賞学生20名の中から、国内最優秀作品として受賞。	学長奨励賞
伊藤 大寛 芸術学部 4年	「六甲ミーツ・アート芸術散歩2022」で公募大賞奨励賞を受賞。応募のあった239の作品プランの中から16組のアーティスト（作品）が選出され、グランプリ、準グランプリに次ぐ奨励賞を受賞。	学長奨励賞
井上 直哉 芸術学研究科 博士前期課程 2年	「NOBUKO基金ART第1回絵と言葉のチカラ展」で上野松坂屋賞を受賞。本公募展は、年齢、キャリア、テーマは不問ながら、絵と言葉両方の出品を求めるコンクールであり、応募作品583点の中からグランプリほか上野松坂屋賞を含む5点が受賞作品に選出。	学長奨励賞
平尾 祐里菜 芸術学研究科 博士前期課程 2年	「第22回アート・ミーツ・アーキテクチャー・コンペティション(AAC2022)/学生限定立体アートコンペ」で作品応募総数93点の中から最優秀賞を受賞。	学長奨励賞
土井 亜子 芸術学部 4年	2022年10月に開催された「第225回ザ・チョイス」で入選。本賞は、プロも含めた一般から広く公募する賞で240名（応募点数約900点）の中から10名が入選。	学長奨励賞
川本 実果 芸術学研究科 博士前期課程 1年	博士前期課程の短期間に多数の公募展に応募し、入選等受賞。①公益社団法人日本新工芸作家連盟主催の特別企画「第5回学生選抜展」で入選。②染・清流館主催の「第3回全国大学選抜染色展」で入選。③一般社団法人日本インテリア協会主催の「NIF・YOUNG TEXTILE 2022」に美術系25大学より推薦され出品。④社会医療法人 清風会主催の「清風会芸術奨励作品展」で銀賞受賞。⑤公益財団法人 SOMPO美術館主催の「FACE展2023」で入選。	学長奨励賞
河野 友泉 情報科学部 4年	2020年度から3年連続特待生に選出	学長奨励賞
柿本 千裕 国際学部 4年		
坂本 慎一郎 情報科学研究科 博士前期課程 1年	2022年度システム工学科学生60名中唯一早期卒業候補として半年早く研究室配属され、極めて勤勉に研究活動に邁進した結果、秋季卒論発表会で最優秀卒業論文賞が授与され早期卒業を達成。M1進学前に多数の卒論研究内容を発展させ、国内学会・国際会議・特許として対外発表。これらの研究業績は、学部生のレベルを遥かに凌駕。	学生顕彰
唐 詩琪 (TANG SHIQI) 芸術学研究科 博士後期課程 2年	市大生チャレンジ事業において代表者としてアート展覧会「自然派-芽出-」（9作家、全12作品）をはつかいち森のあそび場協議会との連携により開催し、中山間地域の活性化に貢献。また、広島市現代美術館企画の「どこかで?ゲンビ」に作家として選出され、2022年1月22日から5月22日までの間、広島駅南口地下広場ショーウィンドウで展示。	学生顕彰
三松 拓真 芸術学研究科 博士前期課程 2年	いちだい地域共創プロジェクトに採択された「せんだまちアートプロジェクト」内で開催した「電車でアート散歩」において、広島電鉄の貸し切り電車を使用した移動型の個展を行い、2時間という短い開催時間ながら、総勢90名近い乗客に市内を走る車内で木彫作品が鑑賞され、大学の認知度向上に貢献。	学生顕彰

【団体4件】

氏名 (学部・研究科)	推薦理由	表彰基準
久保 千優 芸術学部3年 城山 優月 芸術学部3年	アサヒグループジャパン株式会社との共創ゼミ（芸術学部生・一部国際学部生8チーム26名が参加）において、無印良品広島アルパーク店で10月に開催された制作発表会でグランプリを獲得。本作品は東京ビッグサイトで12月8日、9日に開催された「エコプロ2022」にて展示（アサヒグループジャパン出展）され、アサヒグループジャパン主導により商品化も検討中。	学生顕彰
第29回大学祭 実行委員会 代表 三上 航平 情報科学部3年	多くの周辺大学が来場者を学内関係者に限定する等の制限を設けての大学祭開催とする中、公立大学として地域の方々に元気を与えたいとの思いや制限の無い大学祭運営を後輩に引き継ぐ使命感と覚悟を持って、3年振り2日間の通常開催（2022年10月29日・30日）となる大学祭を成功に導く。	学生顕彰
uksy 代表 川口 春 芸術学部1年	市大生チャレンジ事業において芸術学部の4人組ユニットuksyは、大崎上島で約1ヶ月島内に滞在し、海辺の家の清掃や竹林整備を行い、伐採した竹を使って町有のグラウンドに憩いのスペースを制作。活動を通じ地域の問題となっている空き地再生の取り組みが注目を集め、中国新聞や地域の広報誌等で、その活動が取り上げられ、本学の知名度向上に貢献。	学生顕彰
Hiroshima Young Peace Builders 代表 佐藤 優 国際学部3年	6月に佐伯区民文化センターで開催された佐伯区紙芝居まつりに特別出演し、まち物語製作委員会作成の紙芝居「広島第九伝説ムシカ」を朗読劇として上演。また、市大生チャレンジ事業において旧広島陸軍被服支廠を題材に子供向けの物語を創作し、小学生が描いた絵をもとに紙芝居「8月のウサギ～被服支廠物語～」を制作。メディアでも各所での上演やYouTube動画掲載などの活動が数多く取り上げられ、本学の知名度向上に貢献。	学生顕彰